

2026年度 事業計画



TAKAMATSU AIRPORT

2026年度の事業方針

✈️ 事業方針

- 四国・香川の玄関口としての受入機能の強化と空港サービスの向上、そしてお客様の利便性・快適性向上のために、2027年春頃の国際線エリア増改修工事完了と全体供用開始に向け、安全な旅客動線と処理能力を確保・維持しながら工事を着実に取り進めてまいります。
- 引き続き自治体様・空港関係事業者様等と幅広く連携し、国内線・国際線ともに既存路線の増便及び新規路線誘致施策を継続してまいります。
- 物価や労務費上昇等に起因する空港運営コストの増加を適切に利用料金に反映し、空港経営の安定化を推進します。
- 安心・安全の空港運営を行うとともに、着実な施設修繕や更新投資を継続することで、社会インフラとしての機能維持・向上に努めてまいります。

✈️ 目標旅客数

	2026年度目標	【参考】2019年度
旅客数	235 万人	202 万人
国内	176 万人	173 万人
国際	59 万人	29 万人

✈️ 主要計数項目 ※1

項目	2026年度想定 (単位:百万円)
営業収益	2,794
空港運営事業	880
ビル施設事業	1,914
営業費用 (うち、減価償却費)	3,607 (965)
内 空港運営事業	1,415
内 ビル施設事業	1,558
営業利益	▲813
当期純利益	▲955

※1 上記事業計画は、目標旅客数を前提として作成しております。

項目	2026年度目標
取扱貨物量	0.3万トン



2026年度の具体取組み

受入環境整備

- 2027年春頃の国際線エリア増改修工事グランドオープンに向け、着実に工事を推進するとともに、安全な旅客動線の確保及び館内混雑の緩和に関係者一丸となって取り組む
- 2026年秋頃の国際線エリア増築完了後、既存施設からスムーズな機能移転を図り、全体供用開始までの間においてトラブルなく旅客処理能力を確保・維持していく
- 空港関係事業者の合同求人サイトの運営等、将来にわたり空港の基盤を支える多様な人材の確保に取り組む

エアラインマーケティング

- パートナーシップ協定に基づく自治体と連携した既存路線の増便及び新規路線誘致施策を継続する（特に東アジア・東南アジアを重点営業エリアに設定）
- 国内チャーター便の誘致強化によるインバウンド・アウトバウンド双方での観光交流とプロモーションを促進する（北海道、東北等）

空港経営の安定化

- 空港施設や諸設備の修繕維持管理コスト増、利便性・魅力度向上のための大規模設備投資コスト等を適切に空港利用料金に反映し持続性を高める
- 旅客増加やサービスの多角化等に起因する業務負荷の増大に対して、より業務効率を向上させるための取組を推進する

設備投資計画と安全安心な空港運営

- 空港運営上必要な設備更新・修繕等を着実に実施する

運営権施設への更新投資

- 総額 約4億円
内容 空港基本施設等の設備更新等

非運営権施設への整備投資

- 総額 約43億円
内容 旅客ビル施設等のリニューアル・修繕・更新

